

フランス文学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 Semester	開講曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
フランス文学概論Ⅰ	「フランス文学」を通じて 何を学ぶのか:その展 望および文学史(17世	2	黒岩 卓	3	前期 火曜日 2講時	
フランス文学基礎講読Ⅰ	文学テキストを読む	2	今井 勉	3	前期 水曜日 4講時	
フランス語学基礎講読	フランス語文法	2	黒岩 卓	4	後期 月曜日 4講時	
フランス文学各論Ⅰ	文学批評を読む	2	今井 勉	5	前期 木曜日 2講時	
フランス文学各論Ⅲ	物語論の探求—物語形 式の分析	2	翠川 博之	6	後期 火曜日 3講時	
フランス文学演習Ⅰ	Reading , Understanding , Interpreting	2	MEVEL YANN ERIC	5	前期 木曜日 4講時	
フランス文学演習Ⅱ	Reading , Understanding , Interpreting	2	MEVEL YANN ERIC	6	後期 木曜日 4講時	
フランス文学演習Ⅲ	近現代仏文学テキスト読 解	2	今井 勉	5	前期 水曜日 2講時	
フランス語学演習Ⅰ	フランス語の歴史と諸 相(1)	2	黒岩 卓	5	前期 火曜日 1講時	
フランス語学演習Ⅱ	フランス語の歴史と諸 相(2)	2	黒岩 卓	6	後期 火曜日 1講時	

科目名：フランス文学概論 I / French Literature (General Lecture) I

曜日・講時：前期 火曜日 2 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB32203, 科目ナンバリング：LHM-LIT208J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：「フランス文学」を通じて何を学ぶのか：その展望および文学史（17 世紀まで）
2. Course Title (授業題目)：French Literature: history and perspectives
3. 授業の目的と概要：1) 今日の日本にあって、「フランス文学」という学問領域を通して何を学ぶことができるのかを考える。
2) 古代から近世にかけてフランス語やフランス語による文学が成立してきた過程の概要をつかむ。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：We learn about：
1) the meaning of French Literature in today's Japan
2) the history of French and French Literature until the 17th century.
5. 学習の到達目標：一人一人がこれからの日本におけるフランス語・フランス文学のありかたを考えられるようになる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner thinks about French and French Literature.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
第 1 回 オリエンテーション / フランス文学と日本
第 2 回 ラテン語からフランス語へ / ウェルギリウス『アエネーイス』 / 英雄像の変遷
第 3 回 『ローランの歌』 / 中世における口承と文書 / フランス文学の翻訳
第 4 回 「ロマン (物語)」の発生 / 『アーサー王の死』 / 結婚とその他
第 5 回 中世文学の担い手たち / 『ジャンヌ・ダルク処刑裁判』 / 牢獄
第 6 回 中世・ルネサンスにおける詩と音楽 / フランソワ・ヴィヨン / 自己
第 7 回 16 世紀概観 / ラブレール『ガルガンチュア物語』 / 日本におけるフランス文学の翻訳
第 8 回 カルヴァン『キリスト教綱要』 / 対抗宗教改革 / 神の探求
第 9 回 日本におけるキリスト教の伝播 / モンテーニュ『エッセー』 / ラテン語とフランス語
第 10 回 17 世紀概観 / 近代フランス語の成立 / デカルトとパスカル
第 11 回 古典主義の美学 / コルネイユ / ジャーナリズムの誕生
第 12 回 フランスの世界進出 / モリエール / オペラ・バレエ
第 13 回 ラシーヌ / 演劇
第 14 回 ラ・フォンテーヌ / フランス語の形成と辞書の歴史
第 15 回 教場レポート
(内容は予定であり、変更があり得ます)
8. 成績評価方法：
出席 (70%) および教場レポート (30%)
9. 教科書および参考書：
永井敦子・畠山達・黒岩卓編著『フランス文学の楽しみかた ウェルギリウスからル・クレジオまで』、ミネルヴァ書房、2021 年。
10. 授業時間外学習：授業後、感想をフィードバックしていただく可能性があります。また期末の教場レポートの作成に向け、各自が準備をすることが求められます。
 1. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practical business》
 2. その他：なし

科目名：フランス文学基礎講読Ⅰ／ French Literature (Introductory Reading)Ⅰ

曜日・講時：前期 水曜日 4講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LB33404, 科目ナンバリング：LHM-LIT223J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：文学テクストを読む
2. Course Title (授業題目)：Reading of French literature
3. 授業の目的と概要：この授業では、フランス語の基礎文法を確認しながら、フランス語で書かれた文学的な文章を読みます。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to develop the abilities necessary in reading of French literature.
5. 学習の到達目標：フランス語で書かれた文学的な文章の読解技術について実践的な見通しを持つことができるようになる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a practical perspective of understanding of French literature.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
第1回 導入
第2回 名文撰(1)
第3回 名文撰(2)
第4回 名文撰(3)
第5回 名文撰(4)
第6回 名文撰(5)
第7回 名文撰(6)
第8回 名文撰(7)
第9回 名文撰(8)
第10回 名文撰(9)
第11回 名文撰(10)
第12回 名文撰(11)
第13回 名文撰(12)
第14回 名文撰(13)
第15回 まとめと筆記試験
8. 成績評価方法：
授業参加状況60% + 筆記試験40%。
9. 教科書および参考書：
プリントを配付します。
10. 授業時間外学習：毎回、十分な準備をして臨むこと。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス語学基礎講読／ French Literature (Introductory Reading)II

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB41401, 科目ナンバリング：LHM-LIT225J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語文法

2. Course Title (授業題目)：French Grammar

3. 授業の目的と概要：主要な参考書として六鹿豊『これならわかるフランス語文法』（予定）を用いて、初級文法の復習と中・上級文法への導入を行います。また進度によってはさまざまな種類のフランス語のテキストを読みます。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Using the manual mentioned below, each learner revises the basic French grammar and enters into the advanced French grammar.

5. 学習の到達目標：近現代までのフランス語の読解に必要な文法的知識を深める。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner obtains enough knowledge to read French texts correctly.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

以下の予定で『これならわかるフランス語文法』（以下教科書の項を参照）を読みます。実際には進度には変更があり得ます。可能であれば平行してさまざまなテキストの講読を行うことも検討します。

第一回 オリエンテーション

第二回 pp. 10-41

第三回 pp. 42-77

第四回 pp. 78-97

第五回 pp. 97-124

第六回 pp. 125-152

第七回 pp. 152-189

第八回 pp. 190-226

第九回 pp. 226-260

第十回 pp. 260-298

第十一回 pp. 299-332

第十二回 pp. 333-367

第十三回 pp. 367-401

第十四回 pp. 402-435

第十五回 pp. 436-457

8. 成績評価方法：

出席（100%：毎回小テストを実施します）。

9. 教科書および参考書：

六鹿豊『これならわかるフランス語文法』、NHK 出版、2016。

10. 授業時間外学習：初回を除いて、原則として毎回授業で扱う箇所を読んで来るが必要になります。また毎回小テストを実施します。従って、十分な予習と復習が必要になります。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：フランス文学各論 I / French Literature (Special Lecture) I

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LB54202, 科目ナンバリング：LHM-LIT312J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：文学批評を読む
2. Course Title (授業題目) : Reading of French criticism
3. 授業の目的と概要：19 世紀以降のフランスの文学批評の歴史を振り返ります。この授業では、20 世紀の文学と思想に大きな影響を与えたポール・ヴァレリーの文学批評から、『詩学講義』(1937-1945) の一部を読み、その思考表現の特徴を分析します。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : This course reviews the history of French literary criticism since the 19th century. In this class, we will read a portion of Paul Valéry's "Lectures on Poetics" (1937-1945) from his literary criticism, which had a great influence on 20th century literature and thought, and analyze the characteristics of his thought expression.
5. 学習の到達目標：フランスの文学批評について具体的な見通しを持つことができるようになる。
6. Learning Goals(学修の到達目標) : Students will be able to have a concrete outlook on French literary criticism.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
(以下、授業の進捗については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)

第 1 回 導入：ポール・ヴァレリーの『詩学講義』について

第 2 回 テキスト解説

第 3 回 テキスト解説

第 4 回 テキスト解説

第 5 回 テキスト解説

第 6 回 テキスト解説

第 7 回 テキスト解説

第 8 回 テキスト解説

第 9 回 テキスト解説

第 10 回 テキスト解説

第 11 回 テキスト解説

第 12 回 テキスト解説

第 13 回 テキスト解説

第 14 回 テキスト解説

第 15 回 全体のまとめと補足

8. 成績評価方法：

予習をしたうえでの授業への参加状況 70%+課題レポート (2000 字程度) 30%

9. 教科書および参考書：

Google クラスルームに PDF ファイルをアップします。

10. 授業時間外学習：テキストの部分訳を担当していただきますので、ご準備ください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：フランス文学各論Ⅲ／ French Literature (Special Lecture)Ⅲ

曜日・講時：後期 火曜日 3講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：翠川 博之

コード：LB62302, 科目ナンバリング：LHM-LIT314J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：物語論の探求-物語形式の分析
2. Course Title (授業題目)：Exploring Narratology: Analyzing Narrative Structures
3. 授業の目的と概要：物語論とは物語の構造や語りの機能を分析する文学理論のひとつです。G. ジュネットの著作からその主要概念を取り上げ、物語がどのように構成されているのかを具体的作品に基づいて考察していきます。物語形式の分析を通じて文学作品の主題や内容を考察できるよう、その方法論を学びましょう。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course delves into narratology, a literary theory that scrutinizes the structure and narrative functions within a story. Drawing upon Gérard Genette's treatise, we will explore key concepts and dissect how stories are constructed by examining specific literary works. Students will acquire the necessary methodology to scrutinize the subject matter and content of literary pieces through a comprehensive analysis of narrative forms.
5. 学習の到達目標：1. 物語論のスキームを理解して文学作品の形式を評価できるようになる。
2. 物語論の分析概念を適切に用いて文学作品を分析できるようになる。
3. 文学研究に物語論を応用して作品解釈を深めることができる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：1. Comprehend the schematics of narratology and proficiently assess the form of various literary works.
2. Apply appropriate analytical concepts of narratology to effectively analyze and deconstruct literary texts.
3. Utilize narrative theory in literar
7. 授業の内容・方法と進度予定：
第1回 物語論とは何か
第2回 時間① 順序：錯時法；先説法／後説法
第3回 時間② 順序：錯時法；回顧的後説法
第4回 時間③ 持続：休止法／伸長法／叙景法／要約法／省略法
第5回 時間④ 頻度：単起的物語言説／反復的物語言説／括復的物語言説
第6回 叙法① 話法：距離と再現；直接話法／間接話法
第7回 叙法② 焦点化：内的固定焦点化
第8回 叙法③ 焦点化：内的不定焦点化
第9回 叙法④ 焦点化：内的多元焦点化
第10回 叙法⑤ 焦点化：外的焦点化とゼロ焦点化
第11回 態① 語りの時間：後置的／前置的／同時的／挿入的語り
第12回 態② 語りの水準：物語世界外／物語世界内の語り手
第13回 態③ 語りの水準：等質物語世界的／異質物語世界的語り手
第14回 態④ 語りの水準：転説法
第15回 まとめ
8. 成績評価方法：
課題への取り組み (50%)、学期末レポート (50%)
9. 教科書および参考書：
【教科書】 プリントを配布する。
【参考書】 以下の書籍を随時参照する。
Gérard Genette, Figures III, Seuil, coll. Poétique, 1972.
Gérard Genette, Nouveau discours du récit, Seuil, coll. Poétique, 1983.
ジェラルド・プリンス『改定 物語論辞典』(遠藤建一訳) 松柏社, 2015.
上記ジュネットの著作の訳書として、
『物語のディスクール 方法論の試み』(花輪光・和泉涼
10. 授業時間外学習：事前に課題を指示しますので必ず予習をしてきてください。授業後には資料とテキストを読み返し、学んだ事柄について自分自身で検証を行ってください。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス文学演習 I / French Literature (Seminar) I

曜日・講時：前期 木曜日 4 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LB54401, 科目ナンバリング：LHM-LIT331J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Reading , Understanding , Interpreting
2. Course Title (授業題目)：Reading , Understanding , Interpreting
3. 授業の目的と概要：Activities include :

- oral reading practice
- methodical analysis of literary texts
- oral and written expression exercises

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Activities include :

- oral reading practice
- methodical analysis of literary texts
- oral and written expression exercises

5. 学習の到達目標：The aims of the course are as follows :

- initiate students to the analysis of literary texts
- increase reading and listening comprehension skills
- increase oral and written expression skills

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The aims of the course are as follows :

- initiate students to the analysis of literary texts
- increase reading and listening comprehension skills
- increase oral and written expression skills

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) Introduction
- 2) Methodical reading
- 3) Methodical reading
- 4) Methodical reading
- 5) Methodical reading
- 6) Methodical reading
- 7) Methodical reading
- 8) Methodical reading
- 9) Methodical reading
- 10) Methodical reading
- 11) Methodical reading
- 12) Methodical reading
- 13) Methodical reading
- 14) Methodical reading
- 15) Methodical reading
- 16) Screening of a film related to literature . Analysis and discussion

8. 成績評価方法：

Assessment will initially take the form of a continuous oral assessment (participation in classes) , and in writing (short texts) .

This will account for 60 % of the overall assessment . At the end of the semester , assessment will take the form of

9. 教科書および参考書：

Texts will be supplied to students.

10. 授業時間外学習：Students will be required to do some preparatory reading and write short texts related to the subject of the course .

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：フランス文学演習Ⅱ／ French Literature (Seminar)II

曜日・講時：後期 木曜日 4講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LB64402, 科目ナンバリング：LHM-LIT332J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Reading , Understanding , Interpreting
2. Course Title (授業題目)：Reading , Understanding , Interpreting
3. 授業の目的と概要：Activities include :

- oral reading practice
- methodical analysis of literary texts
- oral and written expression exercises

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Activities include :

- oral reading practice
- methodical analysis of literary texts
- oral and written expression exercises

5. 学習の到達目標：The aims of the course are as follows :

- initiate students to the analysis of literary texts
- increase reading and listening comprehension skills
- increase oral and written expression skills

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The aims of the course are as follows :

- initiate students to the analysis of literary texts
- increase reading and listening comprehension skills
- increase oral and written expression skills

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) Introduction
- 2) Methodical reading
- 3) Methodical reading
- 4) Methodical reading
- 5) Methodical reading
- 6) Methodical reading
- 7) Methodical reading
- 8) Methodical reading
- 9) Methodical reading
- 10) Methodical reading
- 11) Methodical reading
- 12) Methodical reading
- 13) Methodical reading
- 14) Methodical reading
- 15) Methodical reading
- 16) Screening of a film related to literature . Analysis and discussion

8. 成績評価方法：

Assessment will initially take the form of a continuous oral examination (participation in classes) , and in writing (short texts) .

This will account for 60 % of the overall assessment . At the end of the semester , assessment will take the form of

9. 教科書および参考書：

Texts will be supplied to students .

10. 授業時間外学習：Students will be required to do some preparatory reading and write short texts related to the subject of the course .

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：フランス文学演習Ⅲ／ French Literature (Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 水曜日 2講時

セメスター：単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LB53209, 科目ナンバリング：LHM-LIT333F, 使用言語：英語以外の外国語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：近現代仏文学テキスト読解

2. Course Title (授業題目)：Reading Modern and Contemporary French Literary Texts

3. 授業の目的と概要：この授業では、近現代フランス文学関連のテキストを精読します。今学期は、ボードレー、ユイスマン、プルースト、モディアーノ、ジャック・レダといった作家の作品からパリを描いたテキストを選んで、読んでみたいと思います。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding of the French modern literature through the intensive reading of texts. This semester, I would like to read a selection of texts depicting Paris from the works of authors such as Baudelaire, Huysmans, Proust, Modiano, and Jacques Reda.

5. 学習の到達目標：近現代フランス文学の理解を深める。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students better understand French modern literature.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)

第1回 導入&テキスト読解(1)

第2回 テキスト読解(2)

第3回 テキスト読解(3)

第4回 テキスト読解(4)

第5回 テキスト読解(5)

第6回 テキスト読解(6)

第7回 テキスト読解(7)

第8回 テキスト読解(8)

第9回 テキスト読解(9)

第10回 テキスト読解(10)

第11回 テキスト読解(11)

第12回 テキスト読解(12)

第13回 テキスト読解(13)

第14回 テキスト読解(14)

第15回 テキスト読解(15)

8. 成績評価方法：

予習をしたうえでの授業への参加状況 100%

9. 教科書および参考書：

Google クラスルームに PDF ファイルをアップします。

10. 授業時間外学習：毎回、十分な予習を行ったうえで、授業に臨んでください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：フランス語学演習 I / French Linguistics (Seminar) I

曜日・講時：前期 火曜日 1 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB52101, 科目ナンバリング：LHM-LIT335J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語の歴史と諸相（1）
2. Course Title (授業題目)：The history of French language and the francophonie (1)
3. 授業の目的と概要：フランス語の歴史をその起源から学び、また現代世界におけるその広がりについて学びます。指定された教科書 (Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002) を基に、フランス語の起源から今日におけるまでの歴史を概観します。同時に仏文解釈の練習も行います。前期・後期を別々に受講することも可能ですが、両方を受講することで理解がより深まります。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：We learn about the history of the French language from its origin to nowadays. We will also excise French-Japanese translation.
5. 学習の到達目標：フランス語の起源と歴史、現代におけるその諸相についての基礎知識を習得する。また仏文解釈のスキルを向上させる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner acquires basic knowledge about the history of the French language. Also, he/she will have a better proficiency in French-Japanese translation.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
(以下に対象とする教科書のページ数を記します。実際には変更がありえます。)
第一回 pp. 11-25.
第二回 pp. 27-37.
第三回 pp. 37-47.
第四回 pp. 47-58.
第五回 pp. 59-70.
第六回 pp. 71-80.
第七回 pp. 80-90.
第八回 pp. 90-99.
第九回 pp. 99-108.
第十回 pp. 109-118.
第十一回 pp. 119-131.
第十二回 pp. 131-138.
第十三回 pp. 138-147.
第十四回 まとめ (1)
第十五回 まとめ (2)
8. 成績評価方法：
出席点 100% (毎週の仏文和訳)
9. 教科書および参考書：
Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002.
10. 授業時間外学習：指定箇所 of 仏文和訳が必要になります。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス語学演習Ⅱ／ French Linguistics (Seminar)II

曜日・講時：後期 火曜日 1 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB62101, 科目ナンバリング：LHM-LIT336J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語の歴史と諸相（2）
2. Course Title (授業題目)：The history of French language and the francophonie (2)
3. 授業の目的と概要：フランス語の歴史をその起源から学び、また現代世界におけるその広がりについて学びます。指定された教科書 (Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002) を基に、フランス語の起源から今日におけるまでの歴史を概観します。同時に仏文解釈の練習も行います。前期・後期を別々に受講することも可能ですが、両方を受講することで理解がより深まります。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：We learn about the history of the French language from its origin to nowadays. We will also excise French-Japanese translation.
5. 学習の到達目標：フランス語の起源と歴史、現代におけるその諸相についての基礎知識を習得する。また仏文解釈のスキルを向上させる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner acquires basic knowledge about the history of the French language. Also, he/she will have a better proficiency in French-Japanese translation.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 第一回 ガイダンスおよび前期の総まとめ
 - 第二回 pp. 148-159.
 - 第三回 pp. 159-167.
 - 第四回 pp. 167-176.
 - 第五回 pp. 176-186.
 - 第六回 pp. 186-196.
 - 第七回 pp. 196-206.
 - 第八回 pp. 207-218.
 - 第九回 pp. 219-229.
 - 第十回 pp. 229-238.
 - 第十一回 pp. 239-249.
 - 第十二回 pp. 250-259.
 - 第十三回 pp. 259-271.
 - 第十四回 pp. 271-280.
 - 第十五回 pp. 281-286.
8. 成績評価方法：
 - 平常点 100% (毎週の仏文和訳)
9. 教科書および参考書：
 - Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002.
10. 授業時間外学習：指定箇所 of 仏文和訳が必要になります。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
 - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
 - 《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし